



NRA-PKI ご利用ガイド

利用法人管理者マニュアル

Microsoft Entra CBA 用のサービス専用

2025 年 05 月 20 日

Ver.2.10

改訂履歴

版	日 付	内 容	備 考
Ver. 1.00	--	初版作成	
Ver. 1.10	2023/11/22	配布先メール機能の追加	
Ver. 2.00	2025/1/22	・ 認証局世代交代に関する内容の記述 ・ 旧認証局の記載を新認証局に変更	
Ver. 2.10	2025/5/20	・ デバイス種別「macOS」の追加 ・ macOS におけるインストール制限機能の追加	

目次

はじめに.....	2
1. 管理者の役割.....	3
2. 管理者用証明書をインストールする.....	3
2-1 管理者用証明書をダウンロードする.....	3
2-2 管理者用証明書をインストールする.....	7
3. NRA-PKI システム管理画面へログインする.....	11
3-1 NRA-PKI システム管理画面へログインする.....	11
4. クライアント証明書を発行／配付する.....	13
4-1 利用者情報を登録してクライアント証明書を発行/配付する.....	14
4-2 利用者情報を CSV で一括登録してクライアント証明書を発行／配付する.....	22
4-3 ダウンロードサイトからクライアント証明書を配付する.....	31
5. クライアント証明書を失効する.....	39
5-1 NRA-PKI システム管理画面からクライアント証明書を失効する.....	39
5-2 CSV ファイルを読み込んでクライアント証明書をまとめて失効する.....	41
6. クライアント証明書を再発行する.....	44
6-1 NRA-PKI システム管理画面からクライアント証明書を再発行する.....	44
6-2 CSV ファイルを読み込んでクライアント証明書をまとめて再発行する.....	47
7. 利用者を削除する.....	52
7-1 利用者を 1 次削除する.....	52
7-2 利用者を 2 次削除する.....	54
7-3 CSV ファイルを読み込んでまとめて利用者を削除する.....	55

はじめに

本書は NRA-PKI システムの管理画面における証明書発行等の操作方法について、記載しています。

※NRA-PKI 認証局の世代交代について

現行の認証局（以下、旧世代と記載）から新認証局（以下、新世代と記載）に完全移行するまでの期間は、旧世代と新世代の併用期間となります。

新旧世代の併用期間【2025 年 1 月 22 日(水)～2025 年 10 月 21 日(火)】

併用期間中は下図赤枠の「認証局世代切り替えボタン」を使用して、証明書の発行元認証局を切り替えることができます。



■2025 年 1 月 22 日以降にご契約のお客様

「認証局世代切り替えボタン」はデフォルトで「新世代」の設定になっていますので、新世代モードのままご利用をお願いいたします。（設定変更等は不要です）

■2025 年 1 月 21 日以前よりご利用のお客様

必ず併用期間中に新世代への切り替えをお願いいたします。

詳しい切り替え方法は以下サポート記事をご参照ください。

- ・ [新世代への切替え方法および検証方法](#)

認証局世代交代についての詳細は以下サポート記事に掲載しております。

- ・ [認証局世代交代に関するご案内](#)

1. 管理者の役割

利用法人の管理者は、「NRA-PKI システム管理画面」より、クライアント証明書に関する以下の操作を行うことができます。

- **クライアント証明書の新規発行**

利用者を新規登録して、クライアント証明書を発行します。

- **クライアント証明書の失効**

利用者がクライアント証明書をインストールした端末を紛失したような場合に、クライアント証明書を失効して、端末を使えなくします。

- **クライアント証明書の再発行**

端末を紛失した利用者が、新しい端末で業務を再開するような場合に、クライアント証明書を再発行します。

電子証明書の新規発行が許可されていない場合は、管理画面から電子証明書の新規発行はできません。

2. 管理者用証明書をインストールする

利用者へのクライアント証明書の操作（新規発行/失効/再発行）は「NRA-PKI システム管理画面」から行います。「NRA-PKI システム管理画面」にログインするには、管理者用証明書が必要です。以下の手順で、管理者用証明書をお使いの PC にインストールしてください。

2-1 管理者用証明書をダウンロードする

1. 弊社クライアント証明書をご購入いただきますと、NRA-PKI 申請書にご記入いただいたご担当者様宛に以下のタイトルのメールが届きます。メールの指示にしたがって、管理者用証明書をダウンロードして PC にインポートしてください。

- **メール 1：「管理者用電子証明書をダウンロードしてください」**

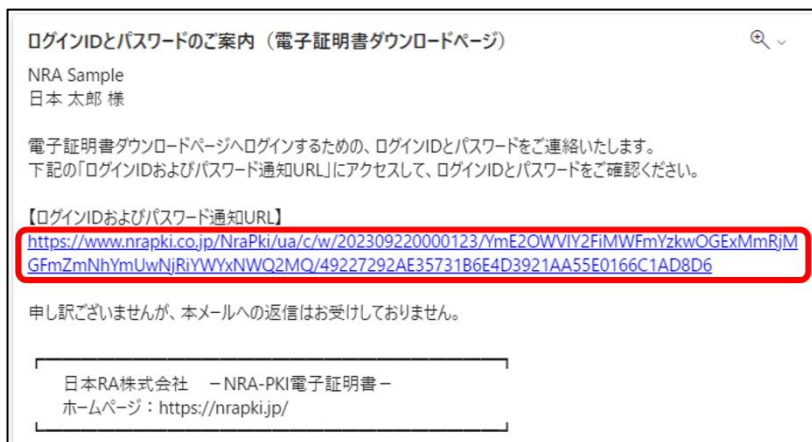
「NRA-PKI システム管理画面」にログインするために必要な管理者用証明書のダウンロード URL が記載されています。

- **メール 2：「ログイン ID とパスワードのご案内**

- （電子証明書ダウンロードページ）**

管理者用証明書をダウンロード、インストールする際に必要な ID とパスワードが記載されています。

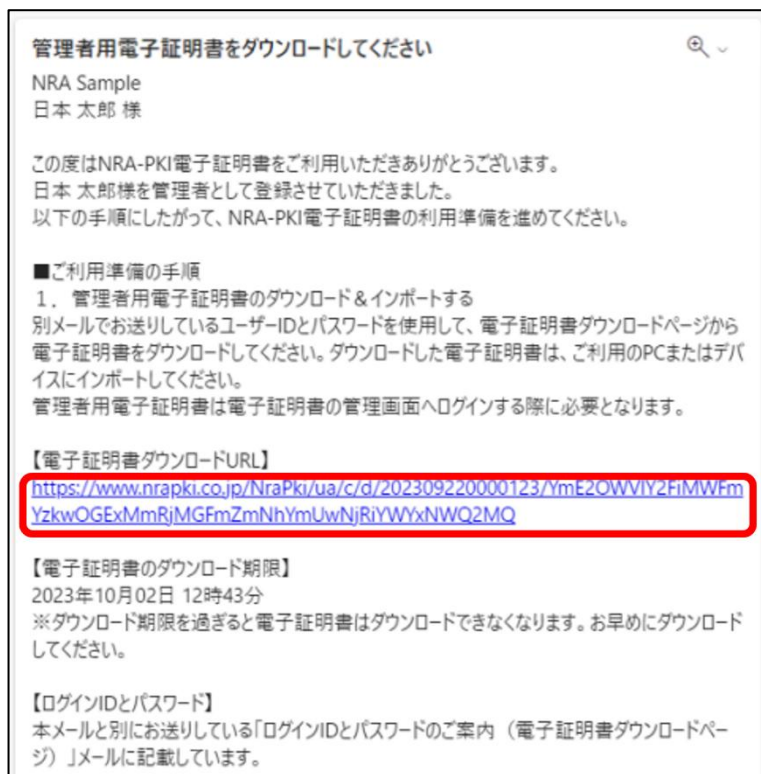
2. 「ログイン ID とパスワードのご案内（電子証明書ダウンロードページ）」メールを開き「ログイン ID およびパスワード通知 URL」をクリックします。



3. ブラウザが起動し、「ID およびパスワード通知」画面が表示されます。ID（下図赤枠①内）とパスワード（下図赤枠②内）を確認します。

パスワードは、証明書を PC にインストールするときにも必要ですので、忘れないようにしてください。

4. 「管理者用電子証明書をダウンロードしてください」のメールを開き「電子証明書ダウンロード URL」に記載されている URL をクリックします。



5. ブラウザが起動し、「証明書ダウンロード ログイン画面」が表示されます。「ID およびパスワード通知」画面で確認した ID とパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。

6. 「証明書ダウンロード画面」が表示されます。「証明書ダウンロード」ボタンをクリックします。
- ※管理者用証明書（拡張子が p12 のファイル）を任意のフォルダに保存してください。



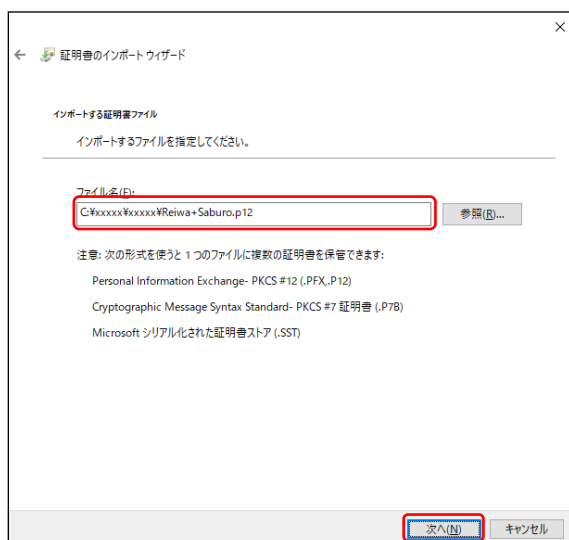
7. 証明書のダウンロードが完了しましたらブラウザを終了します。
8. 以上で管理者用証明書のダウンロードは終了になります。ダウンロードした証明書ファイルは厳重に保管してください。

2-2 管理者用証明書をインストールする

1. 次にご利用の PC にダウンロードした管理者用証明書をインストールします。ダウンロードして保存した管理者用証明書（拡張子が p12 のファイル）をダブルクリックします。
2. 「証明書のインポートウィザード」が起動します。保存場所で「現在のユーザー」を選択して「次へ」をクリックします。



3. ファイル名に、ダウンロードした電子証明書ファイルが表示されていることを確認して、「次へ」をクリックします。



4. 秘密キーのパスワードに、「ID およびパスワード通知」画面で確認したパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

秘密キーの保護
セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):
●●●●●●●●●●

☐ パスワードの表示(O)

インポートオプション(I):

☐ 秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

☐ このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。

☐ 仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(E)

☒ すべての証書プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

「このキーをエクスポート可能にする」のチェックボックスはオフにします。

オンにすると電子証明書は抜き取り可能となりますので脆弱になります。

5. 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

証明書ストア
証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

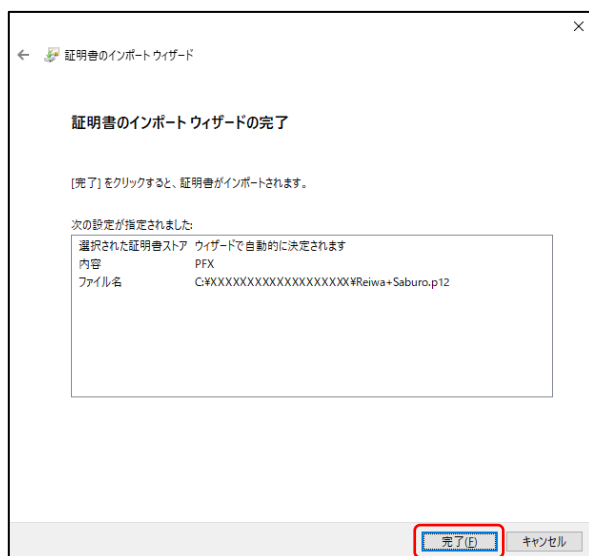
☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:
[Text Box]

参照(B)...

次へ(N) キャンセル

6. [完了] をクリックします。



7. 以上で、管理者用証明書のインストールは終了になります。

【補足】セキュリティ警告について

「完了」をクリックすると下図のセキュリティ警告ダイアログボックスが表示される場合があります。

赤枠内の拇印が NRA-PKI ルート認証局証明書のフィンガープリント（SHA-1）と一致しているため「はい」を選択してください。

・NRA-PKI ルート認証局証明書 (G2)



証明書シリアル番号	01
認証局DN	CN = Nippon RA Root Certification Authority G2 O = Nippon RA Inc. C = JP
証明書有効期間 (JST)	2044年9月2日 11:33:38
フィンガープリント (SHA-1)	c8 44 de b3 86 b9 76 3c 1d 8f 7b df 14 80 ea ae 71 46 3f 82
機関キー識別子 (KeyID)	13 ae 3c e4 bd f0 c0 70 d6 b3 82 9a a3 6b 01 e8 96 4c 76 7e

・NRA-PKI ルート認証局証明書



証明書シリアル番号	01
認証局DN	CN = Nippon RA Root Certification Authority O = Nippon RA Inc. C = JP
証明書有効期間 (JST)	2031年8月15日 11:28:56
フィンガープリント (SHA-1)	8f 36 9b f2 70 17 39 c8 22 c1 03 cf 43 8d a8 2a 7e 77 60 69
機関キー識別子 (KeyID)	19 99 a6 4d e2 2f 79 1e 5b 4e 64 d9 80 e7 f7 c9 b0 9f 72 0e

※ 「いいえ」を選択するとルート証明書がインストールされません。誤って「いいえ」を選択してしまった場合は、下記 URL の弊社 HP レポジトリよりルート証明書をダウンロード・インストールしてください。

弊社 HP レポジトリ：

<https://www.nrapki.jp/client-certificate/repository-cba/>

3. NRA-PKI システム管理画面へログインする

利用者へのクライアント証明書操作（新規発行/失効/再発行）は「NRA-PKI システム管理画面」にログインして行います。先ほどインストールした「管理者用証明書」を使ってログインしますので、ID やパスワードを入力する必要はありません。以下の手順で「NRA-PKI システム管理画面」にログインしてください。

3-1 NRA-PKI システム管理画面へログインする

1. Microsoft Edge を起動し、以下の URL にアクセスします。
<https://www.nrapki.co.jp/NraPki/pki>
2. 以下のような認証用の証明書の選択画面が表示されますので、先ほどインストールした「管理者用証明書」を選択して「OK」ボタンをクリックします。



【補足】

Microsoft Edge のバージョンによって、証明書の選択画面が表示されない場合があります。

3. 正しくログインできれば、以下の「NRA-PKI システム管理画面」が表示されます。



4. 以上で「NRA-PKI システム管理画面」へのログインは終了です。この画面から、クライアント証明書の発行、失効および再発行の操作を行います。

4. クライアント証明書を発行／配付する

「NRA-PKI システム管理画面」を使用してクライアント証明書を発行／配付する方法は、以下の3つがあります。

- **利用者情報を登録してクライアント証明書を発行／配付する**

「NRA-PKI システム管理画面」で利用者情報を入力してクライアント証明書を発行／配付する最も基本的な操作になります。利用者にはメールでクライアント証明書のインストールに必要な情報が送信されます。

- **利用者情報を CSV で一括登録してクライアント証明書を発行／配付する**

利用者情報の CSV ファイルを作成し「NRA-PKI システム管理画面」からインポートすることでクライアント証明書の発行／配付を行います。複数の利用者を一括で登録する場合に便利です。利用者にはメールでクライアント証明書のインストールに必要な情報を送信する方法と、管理者がクライアント証明書を一旦ダウンロードしてから利用者に個別に配付する方法のどちらかを選択できます。

- **ダウンロードサイトからクライアント証明書を配付する**

利用者情報の登録とクライアント証明書の発行は上記のどちらかで実施しますが、クライアント証明書の配付は専用のダウンロードサイトから行います。管理者はダウンロードサイトの URL と ID／パスワードを利用者に通知し、利用者がダウンロードサイトにアクセスしてクライアント証明書を入手しインストールします。利用者のインストール作業を簡素化したい場合に便利です。

【補足】

- 「ダウンロードサイトからクライアント証明書を配付する」機能はデフォルトでは無効になっております。本機能のご利用を希望される場合は、別途弊社までお問い合わせください。

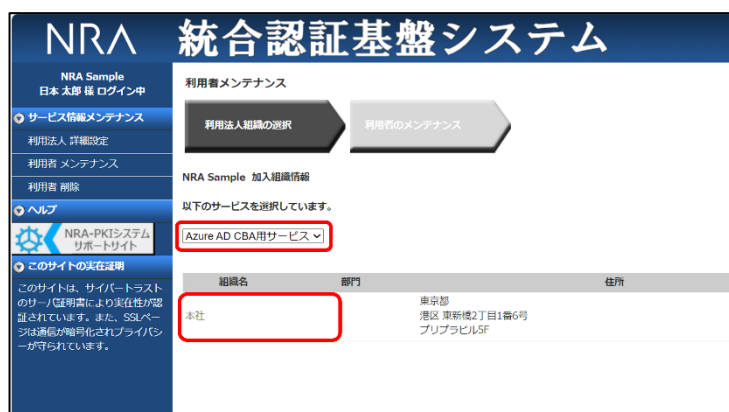
以下それぞれの方法について説明します。

4-1 利用者情報を登録してクライアント証明書を発行/配付する

1. 「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者メンテナンス」をクリックします。



2. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。その下に表示される表の「組織名」列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。



3. 「利用者のメンテナンス」画面が表示されます。利用者を新しく登録する場合は、「新規追加」ボタンをクリックします。

4. 「利用者登録」ウィンドウがポップアップします。以下の順序でクライアント証明書の利用者情報を入力します。

サービス提供会社によって、クライアント証明書の新規発行を利用法人の管理者に許可していない場合があります。その場合、「新規追加」ボタンは表示されません。

「氏名 (姓) 英語表記」、 「氏名 (名) 英語表記」、 「メールアドレス」の入力内容は、発行するクライアント証明書に格納されますので、正確に入力してください (利用者がクライアント証明書のインストールに必要な情報もこのメールアドレスに送信されます)。

証明書のサブジェクト代替名にはメールアドレスの値が格納されます。

5. 利用者情報（氏名）とメールアドレスを入力します。

利用者登録

利用者登録情報入力 利用者登録情報入力内容の確認 利用者登録の完了

利用者情報を入力してください。

■利用者情報

会社名 : NRA Sample
組織名 : 本社

氏名（姓） : 山田
氏名（名） : 太郎
氏名（姓）フリガナ : ヤマダ
氏名（名）フリガナ : タロウ
氏名（姓）英語表記 : Yamada
氏名（名）英語表記 : Taro

メールアドレス : Yamada-Taro @ NRASample.jp ▼

6. 利用デバイス（クライアント証明書をインストールするデバイス）を選択します。

利用デバイス：

選択	利用デバイス
☒	WindowsPC
☐	iOS(iPhone)
☐	iOS(iPad)
☐	その他
☐	Android
☐	macOS

メールアドレスは@より前を入力してください。ドメインは事前に登録されたものが設定されます。
登録されたドメイン以外で証明書発行することはできません。

メールアドレスに使用できる記号は半角でドット“.”、アンダーバー“_”、ハイフン“-”のみです。

利用者が複数のデバイスでクライアント証明書を使用する場合は、複数のデバイスを選択します。たとえば[Windows PC]と[iOS(iPhone)]を選択した場合は、Windows PC 用と iOS(iPhone)用の 2 枚の電子証明書が発行されます。

【補足】

ご利用のサービスによって、入力項目が異なりますので以下ご確認ください。

■期間指定又は期間+時間指定をご利用の場合

利用デバイスと証明書有効期限を入力してください。期間指定は yyyy/mm/dd、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm の形式で入力可能です。

利用デバイス：			
選択	利用デバイス	証明書有効期限(From)	証明書有効期限(To)
☒	WindowsPC	2025/05/20	2026/05/20
☐	iOS(iPhone)		
☐	iOS(iPad)		
☐	その他		
☐	Android		
☐	macOS		

「期間指定又は期間+時間指定」「O、OU指定」「インストール制限」のサービスはデフォルトではご利用になれません。ご希望の際は、弊社サポート窓口 (support@nrapki.jp)迄お問い合わせください。

■O、OU 指定をご利用の場合

利用デバイスと Organization、OrganizationUnit1、OrganizationUnit2 を入力してください。すべてに値を設定しない場合は、発行証明書のサブジェクト組織名に「利用法人会社名（英語表記）」が設定されます。

利用デバイス：				
選択	利用デバイス	Organization	OrganizationUnit1	OrganizationUnit2
☒	WindowsPC	O	OU	OU2
☐	iOS(iPhone)			
☐	iOS(iPad)			
☐	その他			
☐	Android			
☐	macOS			

■インストール制限をご利用の場合

利用デバイスと利用デバイス制限を任意で選択し、インストールする端末の制限項目を入力してください。制限項目が空欄の場合は該当の項目の制限は行いません。

利用デバイス:		利用デバイス制限	制限項目 1	制限項目 2	制限項目 3	制限項目 4
☒	WindowsPC	どれかの条件と一致 (OR) ▼	AABBCCDDEEFF MACアドレス	test-host コンピュータ名	山田太郎 ログインユーザ名	12345ABCDE 端末(BIOS)シリアル番号
☐	iOS(iPhone)	制限なし				
☐	iOS(iPad)	制限なし				
☐	その他	制限なし				
☐	Android	制限なし				
☐	macOS	制限なし ▼	(例) AABBCCDDEEFF MACアドレス	(例) 12345ABCDE シリアル番号	(例) E7F3C2B8-1D2E-4... UUID	

※インストール制限機能は WindowsPC と macOS のみご利用いただけます。

WindowsPC の場合

制限項目 1 : MAC アドレス

制限項目 2 : コンピュータ名

制限項目 3 : ログインユーザ名

制限項目 4 : 端末 (BIOS) シリアル番号

macOS の場合

制限項目 1 : MAC アドレス

制限項目 2 : シリアル番号

制限項目 3 : UUID

利用デバイス制限

・制限なし
インストール時の制限無し

・どれかの条件と一致 (OR)
入力した制限項目が 1 つ以上一致した端末のみインストール可能

・すべての条件と一致 (AND)
入力した制限項目すべて一致した端末のみインストール可能

MAC アドレスは、ハイフン”-”、“、””を省略した 12 桁の 16 進数 (0~F) で入力してください。

7. 以上の情報を入力後、[利用者登録] ウィンドウ下部にある[確認] ボタンをクリックします。

利用デバイス:

選択	利用デバイス
☒	WindowsPC
☐	iOS(iPhone)
☐	iOS(iPad)
☐	その他
☐	Android
☐	macOS

<<配布先メールの削除 配布先メールの変更 配布先メールの追加>>

選択	利用デバイス	配布先メールアドレス

<<配布先メールの削除 配布先メールの変更 配布先メールの追加>>

クリア 確認

8. [入力内容の確認] 画面が表示されます。入力内容に間違いがなければ[決定] ボタンをクリックします。

利用者登録確認

利用者登録情報入力 → 利用者登録情報入力内容の確認 → 利用者登録の完了

入力した利用者情報に問題がないかご確認ください。
問題がない場合は、決定ボタンを押下してください。

■利用者情報

会社名 : NRA Sample
組織名 : 本社

氏名(姓) : 山田
氏名(名) : 太郎
氏名(姓)フリガナ : ヤマダ
氏名(名)フリガナ : タロウ
氏名(姓)英語表記 : Yamada
氏名(名)英語表記 : Taro

メールアドレス : Yamada-Taro@NRASample.jp

利用デバイス:

選択	利用デバイス
☒	WindowsPC
☐	iOS(iPhone)
☐	iOS(iPad)
☐	その他
☐	Android
☐	macOS

戻る 決定

9. 「利用者登録完了」画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックします。



10. 以上で利用者の登録とクライアント証明書の発行は終了になります。

11. 登録した利用者のメールアドレスに以下の2通のメールが送信されます。

- 電子証明書の「秘密の鍵」を登録してください
- ログインIDとパスワードのご案内（電子証明書の「秘密の鍵」登録ページ）

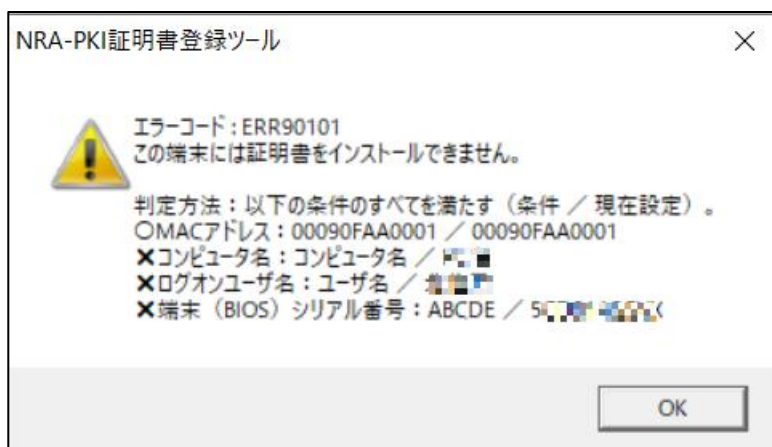
利用者には、メールの内容にしたがってクライアント証明書をインストールさせてください（クライアント証明書のダウンロード／インストール手順については「利用者マニュアル」をご参照ください）。



【補足】インストール制限機能利用時の enroll.exe のエラー

設定した制限項目と証明書をインストールした端末情報に差異がある場合は、enroll.exe を実行後に下図のようなエラー画面が表示されます。

- すべての条件と一致（AND）でMACアドレスのみ一致している場合





【補足】証明書情報を確認する

インストールした証明書情報は、「certmgr.msc」を実行し、「個人」・「証明書」にて確認できます。

(「certmgr.msc」の実行方法は、Windows キー+R にて「ファイル名を指定して実行」のポップアップ画面が表示されますので、名前の部分に” certmgr.msc” と入力し、OK をクリックしてください)

対象の証明書をダブルクリックし、「詳細」にて下図のように証明書の内容を確認できます。

フィールド	値
バージョン	V3
シリアル番号	3d0bd9
署名アルゴリズム	sha256RSA
署名ハッシュ アルゴリズム	sha256
発行者	Nippon RA Certification Auth...
有効期間の開始	2023年9月22日 13:19:22
有効期間の終了	2028年10月22日 13:19:00
サブジェクト	Yamada-Taro@NRASample.jp...
公開キー	RSA (2048 Bits)

E = Yamada-Taro@NRASample.jp
CN = Yamada Taro
OU = 6CF226FD31287DBF70EB45BC3E8AE35505222D25
O = NRA Sample
C = JP

プロパティの編集(E)... ファイルにコピー(C)...

OK

「サブジェクト」に以下の値が登録されています。

E : 証明書メールアドレス
CN : 姓 (英文) + 名 (英文)
OU : NRA-PKI が使用
O : 利用会社名 (英文)
C : JP

O、OU 指定のサービスをご利用の場合

E : 証明書メールアドレス
CN : 姓 (英文) + 名 (英文)
OU : NRA-PKI が使用
OU : OrganizationUnit1
OU : OrganizationUnit2
O : Organization
C : JP

フィールド	値
サブジェクト	Yamada-Taro@NRASample.jp...
公開キー	RSA (2048 Bits)
公開キーのパラメーター	05 00
サブジェクト代替名	RFC822 Name=Yamada-Taro...
キー使用法	Digital Signature, Non-Repu...
拡張キー使用法	電子メールの保護 (1.3.6.1.5.7.3...
機関キー識別子	KeyId=3e63274ab8ce5c97e0...
CRL 配布ポイント	[1]CRL Distribution Point: Dist...
サブジェクトキー識別子	d7091b67045b80d59663449d...

RFC822 Name=Yamada-Taro@NRASample.jp
Other Name:
プリンシパル名=Yamada-Taro@NRASample.jp

プロパティの編集(E)... ファイルにコピー(C)...

OK

「サブジェクト代替名」に以下の値が登録されています。

RFC822 Name : 証明書メールアドレス
プリンシパル名 : 証明書メールアドレス

サブジェクト代替名はデフォルトで RFC822 Name とプリンシパル名の両方が設定されます。

「RFC822 Name」のみ又は「プリンシパル名」のみを設定することも可能です。
ご希望の際は、弊社サポート窓口 (support@nrapki.jp) 迄お問い合わせください。

4-2 利用者情報を CSV で一括登録してクライアント証明書を発行／配付する

1. 以下の表を参考にして一括登録用の CSV ファイルを作成します（利用者情報を CSV ファイルに記載します）。

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	利用者（姓）	○	利用者の姓を入力します。
3	利用者（名）	○	利用者の名を入力します。
4	利用者（姓）フリガナ	○	利用者の姓（フリガナ）を入力します。
5	利用者（名）フリガナ	○	利用者の名（フリガナ）を入力します。
6	利用者（姓）英語表記	○	利用者の姓（英語表記）を入力します。
7	利用者（名）英語表記	○	利用者の名（英語表記）を入力します。
8	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。 尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
9	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。 デバイスコードは右記の「デバイスコード一覧」を参照してください。
10	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
11	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。

No.1~8 に使用できる記号は半角でドット“.”、アンダーバー“_”、ハイフン“-”のみです。

利用者がクライアント証明書のインストールに必要な情報は「配布先メールアドレス」に送信されます。

【デバイスコード一覧】

デバイスコード：利用デバイス種別

01：WindowsPC
11：iOS(iPhone)
12：iOS(iPad)
20：Android
30：macOS
99：その他

No.10~11 は CSV の記載において省略することが可能です。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp,山田,太郎,ヤマダ,タロウ,Yamada,Taro,Yamada-Taro@NRASample.jp,01

期間指定又は期間+時間指定のサービスをご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】

期間指定の場合 2020/01/01

期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

■O、OU 指定をご利用の場合

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	利用者（姓）	○	利用者の姓を入力します。
3	利用者（名）	○	利用者の名を入力します。
4	利用者（姓）フリガナ	○	利用者の姓（フリガナ）を入力します。
5	利用者（名）フリガナ	○	利用者の名（フリガナ）を入力します。
6	利用者（姓）英語表記	○	利用者の姓（英語表記）を入力します。
7	利用者（名）英語表記	○	利用者の名（英語表記）を入力します。
8	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。 尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
9	Organization	-	Organization を入力します。
10	OrganizationUnit1	-	OrganizationUnit1 を入力します。
11	OrganizationUnit2	-	OrganizationUnit2 を入力します。
12	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。 デバイスコードは右記の「デバイスコード一覧」を参照してください。
13	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
14	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。

No.1~8 に使用できる記号は半角でドット“.”、アンダーバー“_”、ハイフン“-”のみです。

利用者がクライアント証明書のインストールに必要な情報は「配布先メールアドレス」に送信されます。

No.9~11 のすべてに値を設定しない場合は、発行証明書のサブジェクト組織名に「利用法人会社名（英語表記）」が設定されます。

【デバイスコード一覧】

デバイスコード：利用デバイス種別

01：WindowsPC

11：iOS(iPhone)

12：iOS(iPad)

20：Android

30：macOS

99：その他

No.13~14 は CSV の記載において省略することが可能です。

期間指定又は期間+時間指定のサービスをご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】

期間指定の場合 2020/01/01

期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp,山田,太郎,ヤマダ,タロウ,Yamada,Taro,Yamada-Taro@NRASample.jp,o,ou1,ou2,01

■インストール制限をご利用の場合

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	利用者（姓）	○	利用者の姓を入力します。
3	利用者（名）	○	利用者の名を入力します。
4	利用者（姓）フリガナ	○	利用者の姓（フリガナ）を入力します。
5	利用者（名）フリガナ	○	利用者の名（フリガナ）を入力します。
6	利用者（姓）英語表記	○	利用者の姓（英語表記）を入力します。
7	利用者（名）英語表記	○	利用者の名（英語表記）を入力します。
8	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。 尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
9	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。 デバイスコードは右記の「デバイスコード一覧」を参照してください。
10	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
11	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
12	サービス連携用 ID	-	ご利用いただいているサービスでは未使用のカラムです。 この値は未指定としてください。
13	プリンシパル名	-	ご利用いただいているサービスでは未使用のカラムです。 この値は未指定としてください。
14	インストール端末制限	-	インストール制限における制限項目一致条件を指定します。 [0] 制限なし [1] 制限項目のどれかと一致(OR 一致) [2] 制限項目のすべてと一致(AND 一致)
15	WindowsPC 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン“-”、コロン“:”を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
16	WindowsPC 用制限項目 2 コンピュータ名	-	インストールを許可する端末のコンピュータ名を入力します。
17	WindowsPC 用制限項目 3 ログインユーザ名	-	インストールを許可するログインユーザ名を入力します。
18	WindowsPC 用制限項目 4 端末(BIOS)シリアル番号	-	インストールを許可する端末の(BIOS)シリアル番号を入力します。
19	macOS 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン“-”、コロン“:”を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
20	macOS 用制限項目 2 シリアル番号	-	インストールを許可する端末のシリアル番号を入力します。
21	macOS 用制限項目 3 UUID	-	インストールを許可する端末の UUID を入力します。 ハイフン(-)を含めた 36 文字で指定してください。

No.1~8 に使用できる記号は半角でドット“.”、アンダーバー“_”、ハイフン“-”のみです。

利用者がクライアント証明書のインストールに必要な情報は「配布先メールアドレス」に送信されます。

【デバイスコード一覧】
デバイスコード：利用デバイス種別
01：WindowsPC
11：iOS(iPhone)
12：iOS(iPad)
20：Android
30：macOS
99：その他

期間指定又は期間+時間指定のサービスを利用していない場合は、No.10~13 の値は未指定としてください。

期間指定又は期間+時間指定のサービスをご利用の場合は、〔証明書有効期限 (From)〕と〔証明書有効期限 (To)〕は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】
期間指定の場合 2020/01/01
期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

No.14 を未指定にした場合は、「制限なし」になります。

No.15~21 で、値を未指定にした場合は制限項目に含まれません。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp,山田,太郎,ヤマダ,タロウ,Yamada,Taro,Yamada-Taro@NRASample.jp,01,,,,,2,11111111111,host-test,山田太郎,aaaaaaaaaaaaa,,,

■ O、OU 指定+インストール制限をご利用の場合

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	利用者（姓）	○	利用者の姓を入力します。
3	利用者（名）	○	利用者の名を入力します。
4	利用者（姓）フリガナ	○	利用者の姓（フリガナ）を入力します。
5	利用者（名）フリガナ	○	利用者の名（フリガナ）を入力します。
6	利用者（姓）英語表記	○	利用者の姓（英語表記）を入力します。
7	利用者（名）英語表記	○	利用者の名（英語表記）を入力します。
8	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
9	Organization	-	Organization を入力します。
10	OrganizationUnit1	-	OrganizationUnit1 を入力します。
11	OrganizationUnit2	-	OrganizationUnit2 を入力します。
12	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。 デバイスコードは右記の「デバイスコード一覧」を参照してください。
13	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
14	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
15	サービス連携用 ID	-	ご利用いただいているサービスでは未使用のカラムです。この値は未指定としてください。
16	プリンシパル名	-	ご利用いただいているサービスでは未使用のカラムです。この値は未指定としてください。
17	インストール端末制限	-	インストール制限における制限項目一致条件を指定します。 [0] 制限なし [1] 制限項目のどれかと一致(OR 一致) [2] 制限項目のすべてと一致(AND 一致)
18	WindowsPC 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン“-”、コロン“:”を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
19	WindowsPC 用制限項目 2 コンピュータ名	-	インストールを許可する端末のコンピュータ名を入力します。
20	WindowsPC 用制限項目 3 ログインユーザ名	-	インストールを許可するログインユーザ名を入力します。

No.1~8 に使用できる記号は半角でドット“.”、アンダーバー“_”、ハイフン“-”のみです。

利用者がクライアント証明書のインストールに必要な情報は「配布先メールアドレス」に送信されます。

No.9~11 のすべてに値を設定しない場合は、発行証明書のサブジェクト組織名に「利用法人会社名（英語表記）」が設定されます。

【デバイスコード一覧】
デバイスコード：利用デバイス種別
01：WindowsPC
11：iOS(iPhone)
12：iOS(iPad)
20：Android
30：macOS
99：その他

期間指定又は期間+時間指定のサービスをご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】
期間指定の場合 2020/01/01
期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00
未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

No.17 を未指定にした場合は、「制限なし」になります。

21	WindowsPC 用制限項目 4 端末(BIOS)シリアル番号	-	インストールを許可する端末の(BIOS)シリアル番号を入力します。
22	macOS 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン“-”、コロン“:”を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
23	macOS 用制限項目 2 シリアル番号	-	インストールを許可する端末のシリアル番号を入力します。
24	macOS 用制限項目 3 UUID	-	インストールを許可する端末の UUID を入力します。 ハイフン(-)を含めた 36 文字で指定してください。

No.18~24 で、値を未指定にした場合は制限項目に含まれません。

【CSV ファイルの例】

```
Yamada-Taro@NRASample.jp,山田,太郎,ヤマダ,タロウ,Yamada,Taro,
Yamada-Taro@NRASample.jp,o,ou1,ou2,01,,,,,2,111111111111,host-test,
山田太郎,aaaaaaaaaaaaa,,,
```



【補足】CSV 作成時の注意点

CSV ファイルを作成する際はメモ帳などのテキストエディタをご利用ください。エクセルを使用すると、登録時にエラーが出る場合があります。詳細については以下サポートサイトの記事をご確認ください。

CSV 一括登録時のエラー「行:1 項目:1 入力形式が不正です。入力形式：メールアドレス形式のみ」

<https://www.nrapki.jp/support/?p=555>

その他の注意点等は以下サポートサイトの記事も併せてご確認ください。

CSV 一括登録時の補足や注意点

<https://www.nrapki.jp/support/?p=885>

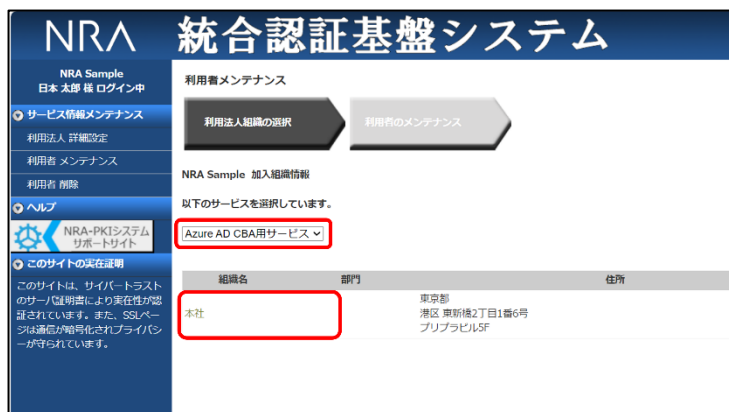
一度削除した利用者を再度 CSV 一括登録する場合について

<https://www.nrapki.jp/support/?p=583>

2. 準備した CSV ファイルを使って複数のユーザを一括登録しクライアント証明書を発行します。「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者メンテナンス」をクリックします。



3. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。その下に表示される表の「組織名」列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。



4. 登録されている利用者の一覧が表示されます。[▼一括操作] をクリックすると、実行できる一括操作コマンドの一覧が表示されます。[CSV 一括登録] の [実行] ボタンをクリックします。



5. [CSV 一括登録] ウィンドウがポップアップします。

CSV一括登録

CSV一括登録

CSV一括登録受付完了

NRA Sample 本社

利用者の情報が記載されたCSVファイルを選択してください。

CSVファイル: ファイルが選択されていません

☐ 発行した証明書は、管理者が一括ダウンロードする。

登録用CSVファイルについて

【注意】
「代表メールアドレス」として登録できるメールアドレスは以下の通りです。
・登録可能メールアドレス: NRASample.jp

■ CSV処理状況

現在処理待ちおよび処理中のCSVファイルはありません

CSV 処理状況に現在の待ち状況が表示されます。待ち状況には全ての利用者の CSV 処理状況が反映されます。

「更新」ボタンを押下すると画面がリロードされ、最新の待ち状況が表示されます。

処理待ちおよび処理中の CSV ファイルがある場合は、処理に時間がかかる場合がございます。

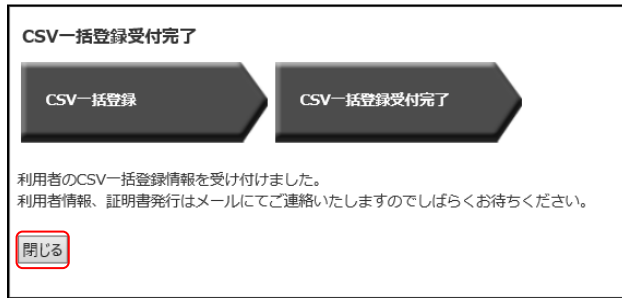
「代表メールアドレス」として登録できるのは「登録可能メールアドレス」に表示されているメールアドレスのみとなります。

6. [CSV ファイル] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして作成した CSV ファイルを選択します。
7. 発行した証明書を管理者が一括ダウンロードする場合は、[発行した証明書は、管理者が一括ダウンロードする] のチェックボックスをチェックします。
8. 以上の入力後 [登録] ボタンをクリックします。

情報システム部で端末に証明書をキッティングしたり、MDM で証明書を配布する場合は、管理者側で証明書を一括ダウンロードすることができます。

管理者一括ダウンロードをご利用の場合は、インストール制限機能はご利用いただけません。

9. 「CSV一括登録受付完了」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックします。



10. 以上で利用者情報の CSV 一括登録は終了になります。利用者登録処理が正常に完了すると管理者宛に「利用者一括登録受付通知」が届きます。エラー等で正常完了できなかった場合は、「利用者一括登録受付エラー通知」が届きます。エラーの原因などが記載されていますので、内容にしたがって、再度、登録作業を行ってください。
11. 利用者登録処理が正常に完了した場合、登録した利用者のメールアドレスに以下の 2 通のメールが送信されます。

- 電子証明書の「秘密の鍵」を登録してください
- ログイン ID とパスワードのご案内（電子証明書の「秘密の鍵」登録ページ）

利用者には、メールの内容にしたがってクライアント証明書をインストールさせてください（クライアント証明書のダウンロード／インストール手順については「利用者マニュアル」をご参照ください）



【補足】発行した証明書を管理者が一括ダウンロードする場合

上記 8 項で「発行した証明書は、管理者が一括ダウンロードする」をチェックして「登録」した場合、利用者にはクライアント証明書のインストールに必要なメールは送信されず、代わりに管理者にクライアント証明書の一括ダウンロード URL がメールで送信されます。

管理者はメールにあるダウンロード URL にアクセスしてクライアント証明書の圧縮ファイルを取得します。ダウンロードしたファイルを解凍すると、各利用者用に以下のファイルがあります。

- クライアント証明書ファイル（「.P12」形式）
- クライアント証明書インストール時に入力するパスワードが記載されたファイル（「.PIN」拡張子のテキストファイル）

クライアント証明書ファイル（「.P12」形式）は該当デバイス上で実行することでインストールが開始されます。インストール途中のパスワード入力では「.PIN」ファイルに記載されているパスワードを入力してください。

※「iPhone」、「iPad」を選択した場合、「mobileconfig」というファイルがダウンロードされる場合があります。（販売店様の設定により異なります）

「mobileconfig」がある場合、「.P12」を使用せず「mobileconfig」を使用して証明書をインストールしてください。



【補足】クライアント証明書（利用者）を検索する

管理画面では、以下の手順で特定の利用者やクライアント証明書を検索することができます。

1. 「NRA・PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者メンテナンス」をクリックします。
2. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。
3. 「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
4. 「組織名」の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。
5. 登録されている利用者の一覧が表示されます。
6. 「▼検索条件」をクリックすると、指定できる検索条件の一覧が表示されます。検索条件を指定して、「検索実行」ボタンをクリックします。

▼ 検索条件

利用者名（姓）：

利用者名（名）：

メールアドレス：

証明書申請日： ~

証明書発行日： ~

証明書終了日： ~

証明書ステータス：
☐ 証明書発行中 ☐ 証明書発行済 ☐ 証明書ダウンロード済
☐ 証明書失効済

デバイス種別：
☐ WindowsPC ☐ iOS(iPhone) ☐ iOS(iPad)
☐ その他 ☐ Android ☐ macOS

認証局世代：
☐ 旧世代 ☐ 新世代

【 検索の例 】

〔例 1〕 特定の証明書を失効または再発行する場合の検索

- ・ 証明書メールアドレスを「メールアドレス」欄に入力
- ・ デバイス種別を選択

〔例 2〕 来月に更新期限をむかえる証明書を調べる場合の検索

- ・ 「証明書終了日」に来月 1 日と末日の日付を入力

〔例 3〕 ダウンロードされていない証明書を調べる場合の検索

- ・ 「証明書ステータス」欄で「証明書発行済み」をチェック

4-3 ダウンロードサイトからクライアント証明書を配付する

クライアント証明書の配付をメールではなく専用のダウンロードサイトから行う手順を以下の順序で説明します。本機能はデフォルトでは無効になっておりますので、ご利用を希望される場合は、弊社サポート窓口(support@nrapki.jp)迄お問い合わせください。

- 事前準備
- 利用者情報の登録とクライアント証明書の発行
- 専用のダウンロードサイトからクライアント証明書を配付

4-3-1 事前準備

事前準備として以下の設定を行います。

- ・利用者にクライアント証明書の配付メールを通知しない設定
- ・専用ダウンロードサイトにアクセスできる IP アドレス制限設定

1. 「NRA・PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用法人 詳細設定」をクリックします。



2. 「利用法人 詳細設定」画面が表示されます。「利用者へ」の設定を「メールで通知しない」にします（これにより、利用者にクライアント証明書書の配付メールが送信されなくなります）。

The screenshot shows the 'NRA 統合認証基盤システム' (NRA Integrated Authentication Base System) interface. The main heading is '利用法人 詳細設定' (Utilization Corporation Detailed Settings). Below the heading, there are three tabs: '利用法人 詳細設定' (selected), '利用法人 詳細設定 内容の確認' (Check content of utilization corporation detailed settings), and '利用法人 詳細設定の完了' (Completion of utilization corporation detailed settings). The main content area is titled '利用法人詳細設定を入力してください。' (Please enter utilization corporation detailed settings). It includes sections for '利用者通知メール' (User notification email), 'パスワード' (Password), and '利用者へ' (To User). The '利用者へ' section has two radio buttons: 'メールで通知する' (Notify by email) and 'メールで通知しない' (Do not notify by email). The 'メールで通知しない' option is selected. Below this, there is a section for 'アクセスを許可するIPアドレスの設定' (Setting of IP address to allow access), which includes a text input field for '追加する許可IPアドレス' (Add allowed IP address) and a '追加' (Add) button. The input field contains the example '192.168.1.1' and the text 'または192.168.1.0/24 全開放(0.0.0.0/0)'. Below the input field, there is a list of '許可IPアドレス' (Allowed IP addresses) with the example '192.168.1.0/24' and a '削除' (Delete) button. At the bottom, there are 'クリア' (Clear) and '確認' (Confirm) buttons.

3. 次に専用ダウンロードサイトにアクセスを許可する IP アドレス（もしくはネットワークアドレス）を設定します。「追加する許可 IP アドレス」の例にある形式の IP アドレス（もしくはネットワークアドレス）が設定可能です。すべてのアクセスを許可する場合は「0.0.0.0/0」を設定してください。デフォルトは「すべてアクセス拒否」です。「追加する許可 IP アドレス」に IP アドレス（もしくはネットワークアドレス）を入力し「追加」ボタンをクリックします。

すべての IP アドレスからのアクセスを許可する場合「0.0.0.0/0」が設定可能ですが推奨はしません。

This screenshot is similar to the previous one, but it highlights the '追加する許可IPアドレス' (Add allowed IP address) field and the '追加' (Add) button. The field contains the example '192.168.1.1' and the text 'または192.168.1.0/24 全開放(0.0.0.0/0)'. Below the field, the '許可IPアドレス' (Allowed IP address) list shows the example '192.168.1.0/24' and a '削除' (Delete) button. The 'クリア' (Clear) and '確認' (Confirm) buttons are at the bottom.

「追加する許可 IP アドレス」に IP アドレス（もしくはネットワークアドレス）を入力し「追加」ボタンをクリックすると、左図のように「許可 IP アドレス」が表示されます。

4. 以上の入力後「利用法人 詳細設定」画面下部にある「確認」ボタンをクリックします。

5. 確認画面が表示されますので、内容を確認したのち「決定」ボタンをクリックします。

以上で事前準備は終了になります。

4-3-2 利用者情報の登録とクライアント証明書の発行

次に利用者情報の登録とクライアント証明書の発行を行います。この手順は先に説明した以下の章と同じになります。以下を参照し実施してください。

- ・ 4-1 利用者情報を登録してクライアント証明書を発行／配付する
- ・ 4-2 利用者情報を CSV で一括登録してクライアント証明書を発行／配付する

4-3-3 専用のダウンロードサイトからクライアント証明書を配付

専用のダウンロードサイトからクライアント証明書を配付するために管理者は「利用者情報の登録とクライアント証明書の発行」後、以下の情報を「NRA-PKI システム管理画面」から取得します。

- ・ クライアント証明書のダウンロードサイト URL
- ・ クライアント証明書をダウンロードするための ID とパスワード

利用者には、ダウンロードサイトの URL とダウンロードするための ID とパスワードを提供しクライアント証明書をインストールさせてください（クライアント証明書ダウンロード後のインストール手順については「利用者マニュアル」をご参照ください）



【補足】 クライアント証明書をインストールするときに入力するパスワード

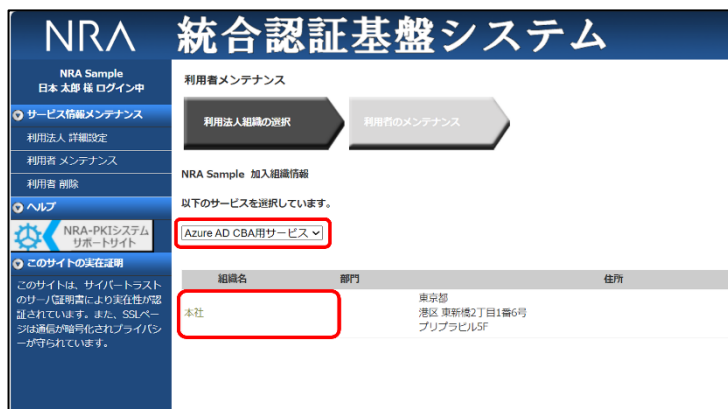
クライアント証明書をインストールするときに入力するパスワード（秘密の鍵）は「ダウンロードするためのパスワード」と同じになります。

【クライアント証明書のダウンロードサイト URL の取得】

1. 「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者メンテナンス」をクリックします。



2. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。その下に表示される表の「組織名」の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。



【クライアント証明書をダウンロードするための ID とパスワードの取得】

以下の 2 つの方法があります。

■その 1：利用者リストから取得する方法

「利用者メンテナンス」の登録されている利用者の一覧表が表示されている画面で「▼一括操作」をクリックし、「利用者リストダウンロード」の「実行」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'NRA 統合認証基盤システム' (NRA Integrated Authentication System) interface. On the left is a sidebar with navigation links like 'サービス情報メンテナンス', 'ヘルプ', and 'このサイトの存在証明'. The main area is titled '利用者メンテナンス' (User Maintenance) and contains a '一括操作' (Batch Operation) dropdown menu. This menu is open, showing several options with '実行' (Execute) buttons. The option '利用者リストダウンロード' (Download User List) is highlighted with a red box, and its '実行' button is also highlighted with a red box. Below the menu is a table of users. The first user listed is '山田 太郎' (Yamada Taro) with email 'Yamada-Taro@NRASample.jp'.

選択	編集	▲▼ 利用者名	▲▼ メールアドレス	▲▼ 配布先メールアドレス
☐	編集	山田 太郎	Yamada-Taro@NRASample.jp	Yamada-Taro@NRASample.jp

利用者リストの CSV ファイルをダウンロードし Excel でオープンします。次の項目の値がクライアント証明書をダウンロードするための ID とパスワードになります。

- ID : 配布先メールアドレス
- パスワード : 証明書ダウンロード用パスワード



【補足】

利用者リストの CSV ファイルには、ID/パスワード以外にもクライアント証明書の重要な情報がリストされていますので取り扱いに注意してください。

■その２：NRA-PKI パスワード通知書から取得する方法

「利用者メンテナンス」の登録されている利用者の一覧が表示されている画面でID／パスワードを取得したい利用者をチェックした後、[▼一括操作]をクリックし、[NRA-PKI パスワード通知書の発行]の[実行]ボタンをクリックします。



「NRA-PKI パスワード通知書（PDF ファイル）」が作成されブラウザでオープンします。「NRA-PKI パスワード通知書（PDF ファイル）」2 ページの表にある次の項目の値がクライアント証明書をダウンロードするための ID とパスワードになります。

- ID : メールアドレス (ID) 欄の値
- パスワード : パスワード欄の値

5. クライアント証明書を失効する

クライアント証明書をインストールしたデバイスの紛失や、使用しなくなった場合は、それらのデバイスにインストールしたクライアント証明書を失効して使用不可にします。

「NRA-PKI システム管理画面」から直接失効する方法と、CSV ファイルを指定してまとめて失効する方法があります。

失効した証明書のシリアル番号は失効リスト（CRL）に登録されます。Web サーバーや VPN 装置は失効リストを参照しますので、失効した証明書ではアクセスが拒否されます。

5-1 NRA-PKI システム管理画面からクライアント証明書を失効する

1. 「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」→「利用者メンテナンス」をクリックします。
2. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。
3. 「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
4. 「組織名」の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。
5. 登録されている利用者の一覧表が表示されます。
6. 失効するクライアント証明書の「選択」欄をチェックします（複数の証明書を失効する場合は、複数チェックできます）。
7. 「失効」ボタンをクリックします。



8. 「利用者証明書一括失効」ウィンドウが開き、選択したクライアント証明書の一覧が表示されます。[ただちに、失効する]、[日付を指定して、失効する]のいずれかを選択し[失効]ボタンをクリックします。

利用者証明書一括失効

利用者証明書一括失効
選択内容の確認

利用者証明書一括失効
受付完了

失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

失効日: ☒ ただちに、失効する。
☐ 日付を指定して、失効する。
※指定日の午前0時前後に失効します。

失効

利用者名	証明書ステータス	コモンネーム	シリアルナンバー	証明書開始日	証明書終了日	配布先メールアドレス	デバイス種類
山田 太郎	証明書ダウンロード済	Yamada Taro	3d1f9a	2023/10/27	2028/11/27	Yamada-Taro@NRASample.jp	WindowsPC

失効日を日付で指定したい場合は、[日付を指定して、失効する]を選択して、失効日を指定します。(30日以内で指定可能)
指定した失効日の午前0時ごろにシステムによって自動的に失効されます。

9. 確認のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

www.nrapki.co.jp の内容

選択された証明書を失効します。
対象として選択した証明書は即座に失効します。
実行してもよろしいですか？

OK キャンセル

10. 選択したクライアント証明書が失効され、管理者宛に「電子証明書失効通知」が届きます。以上でクライアント証明書の失効処理は終了になります。

5-2 CSV ファイルを読み込んでクライアント証明書をまとめて失効する

CSV ファイルを指定して、まとめて失効処理を行うことができます。取り扱っているクライアント証明書の数が多い場合は、CSV を使った失効処理のほうが簡単で確実です。

1. 失効処理用の CSV ファイルを作成します。必要なフィールドは以下の 3 フィールドです。

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	配布先メールアドレス	○	利用デバイス用のメールアドレスを入力します。 尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
3	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。

【CSV ファイルの例】

代表メールアドレスと配布先メールアドレスが同一の場合

Yamada-Taro@NRASample.jp,Yamada-Taro@NRASample.jp,01
--

代表メールアドレスと配布先メールアドレスが別の場合

Yamada-Taro@NRASample.jp,nra012@NRASample.jp,11

2. メニューから [サービス情報メンテナンス] - [利用者メンテナンス] をクリックします。
3. [利用者メンテナンス] 画面が表示されます。
4. [以下のサービスを選択しています] で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
5. [組織名] の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。

6. 登録されている利用者の一覧表が表示されます。[▼一括操作] をクリックし、[CSV一括失効] の[実行] ボタンをクリックします。



7. [CSV一括失効] ウィンドウが表示されます。

CSV一括失効

CSV一括失効受付完了

NRA Sample 本社

失効する利用者の情報が記載されたCSVファイルを選択してください。

CSVファイル : ファイルの選択 ファイルが選択されていません

失効日 : ☒ ただちに、失効する。

☐ 日付を指定して、失効する。

※指定日の午前0時前後に失効します。

失効用CSVファイルについて

クリア 失効

失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

■ CSV処理状況 更新

現在処理待ちおよび処理中のCSVファイルはありません

CSV 処理状況に現在の待ち状況が表示されます。待ち状況には全ての利用者の CSV 処理状況が反映されます。

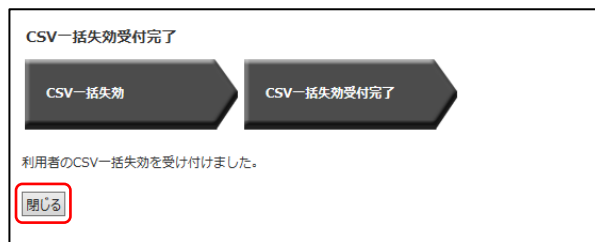
「更新」ボタンを押下すると画面がリロードされ、最新の待ち状況が表示されます。

処理待ちおよび処理中の CSV ファイルがある場合は、処理に時間がかかる場合がございます。

8. [CSV ファイル] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして、CSV ファイルを指定します。
9. [ただちに、失効する]、[日付を指定して、失効する] のいずれかを選択し、[失効] ボタンをクリックします。

失効日を日付で指定したい場合は、[日付を指定して、失効する]を選択して、失効日を指定します。(30 日以内で指定可能) 指定した失効日の午前 0 時ごろにシステムによって自動的に失効されます。

10. 「CSV一括失効受付完了」画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。



11. 処理が正常に完了しますと、管理者宛に「利用者一括失効受付通知」が届きます。以上でクライアント証明書の一括失効処理は終了になります。

6. クライアント証明書を再発行する

失効したクライアント証明書を再発行することができます。再発行は、管理画面から失効したクライアント証明書を選択して直接再発行する方法と CSV ファイルを指定してまとめて再発行する方法があります。

失効していないクライアント証明書に対して再発行を行った場合、使用中のクライアント証明書は失効されて新しいクライアント証明書が再発行されます。

6-1 NRA-PKI システム管理画面からクライアント証明書を再発行する

1. 「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者メンテナンス」をクリックします。
2. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。
3. 「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
4. 「組織名」の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。
5. 登録されている利用者の一覧表が表示されます。
6. 再発行するクライアント証明書の「選択」欄をチェックします（複数の証明書を再発行する場合は、複数チェックできます）。
7. 「再発行」ボタンをクリックします。



8. 「利用者証明書一括再発行」ウィンドウが開き、選択したクライアント証明書の一覧が表示されます。[ただちに、失効する]、[日付を指定して、失効する]のいずれかを選択し「再発行」ボタンをクリックします。

利用者証明書一括再発行

利用者証明書一括再発行 選択内容の確認

利用者証明書一括再発行 受付完了

対象の証明書を失効してから再発行します。
失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

失効日: ☒ ただちに、失効する。
☐ 日付を指定して、失効する。
※指定日の午前 0 時前後に失効します。

再発行

失効対象	利用者名	証明書ステータス	証明書情報			
			コモンネーム 配布先メールアドレス	シリアル ナンバー	証明書開始日 証明書終了日	デバイス種別
☒	山田 太郎	証明書ダウンロード済	Yamada Taro Yamada-Taro@NRASample.jp	3d1f9a	2023/10/27 2028/11/27	WindowsPC

失効日を日付で指定したい場合は、[日付を指定して、失効する]を選択して、失効日を指定します。(30 日以内で指定可能)
指定した失効日の午前 0 時ごろにシステムによって自動的に失効されます。

【補足】

ご利用のサービスによって、入力項目が異なりますので以下ご確認ください。

■期間指定又は期間+時間指定をご利用の場合

証明書有効期限を入力してください。期間指定は yyyy/mm/dd、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm の形式で入力可能です。

利用者証明書一括再発行

利用者証明書一括再発行 選択内容の確認

利用者証明書一括再発行 受付完了

対象の証明書を失効してから再発行します。
失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

再発行する証明書の有効期限(証明書開始日、終了日)を入力してください。
有効期限は、証明書開始日から起算して66か月間です。

証明書開始日 :
証明書終了日 :

失効日: ☒ ただちに、失効する。
☐ 日付を指定して、失効する。
※指定日の午前 0 時前後に失効します。

再発行

失効対象	利用者名	証明書ステータス	証明書情報			
			コモンネーム 配布先メールアドレス	シリアル ナンバー	証明書開始日 証明書終了日	デバイス種別
☒	sample user	証明書ダウンロード済	sample user sample-user@cbatest.nrapki.jp	3d22be	2023/10/30 2024/10/31	WindowsPC

「期間指定又は期間+時間指定」「O、OU 指定」「インストール制限」のサービスはデフォルトではご利用になれません。
ご希望の際は、弊社サポート窓口 (support@nrapki.jp)迄お問い合わせください。

■O、OU 指定をご利用の場合

O、OU の値を変更して再発行する場合は、下図の赤枠部分を変更後に「再発行」ボタンをクリックしてください。

利用証明書一括再発行

利用証明書一括再発行 選択内容の確認

利用証明書一括再発行 実行完了

対象の証明書を失効してから再発行します。
失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

失効日: ☒ ただちに、失効する。
☐ 日付を指定して、失効する。
※指定日の午前0時前後に失効します。

再発行

失効対象	利用者名	証明書ステータス	コモンネーム 配布先メールアドレス	シリアル ナンバー	証明書有効期限 証明日時	デバイス種別	Organization(O) OrganizationUnit1(OU1) OrganizationUnit2(OU2)
☒	山田 太郎	証明書ダウンロード済	Yamada Taro Yamada-Taro@NRASample.jp	3d1f9a	2023/10/27 2028/11/27	WindowsPC	O : O : OU1 : OU : OU2 : OU2 :

■インストール制限をご利用の場合

インストール制限の設定を変更して再発行する際は、下図の赤枠部分を変更後に「再発行」ボタンをクリックしてください。

利用証明書一括再発行

利用証明書一括再発行 選択内容の確認

利用証明書一括再発行 実行完了

対象の証明書を失効してから再発行します。
失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

失効日: ☒ ただちに、失効する。
☐ 日付を指定して、失効する。
※指定日の午前0時前後に失効します。

再発行

失効対象	利用者名	証明書ステータス	コモンネーム 配布先メールアドレス	シリアル ナンバー	証明書有効期限 証明日時	デバイス種別	利用デバイス制限 利用デバイス制限項目
☒	山田 太郎	証明書ダウンロード済	Yamada Taro Yamada-Taro@NRASample.jp	3d1f9a	2023/10/27 2028/11/27	WindowsPC	すべての条件と一致 (AND) ▼ 1. MACアドレス AABBCDDEEFF 2. コンピュータ名 test-host 3. ログインユーザ名 山田太郎 4. 端末(BIOS)シリアル番号 1234567890

利用デバイス制限

- ・制限なし
- インストール時の制限無し

・どれかの条件と一致 (OR)
入力した制限項目が1つ以上一致した端末のみインストール可能

・すべての条件と一致 (AND)
入力した制限項目すべて一致した端末のみインストール可能

MAC アドレスは、ハイフン”-”、コロン”:”を省略した12桁の16進数(0~F)で入力してください。

9. 確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

www.nrapki.co.jp の内容

選択された証明書を失効し、再発行します。
失効対象として選択した証明書は即座に失効します。
実行してもよろしいですか？

OK キャンセル

10. 選択したクライアント証明書が再発行され、管理者宛に「電子証明書再発行通知」が届きます。以上でクライアント証明書の再発行処理は終了になります。

失効していない証明書に対して再発行を行った場合は、使用中の証明書は自動的に失効されます。

6-2 CSV ファイルを読み込んでクライアント証明書をまとめて再発行する

CSV ファイルを指定して、まとめてクライアント証明書の再発行を行うことができます。取り扱っているクライアント証明書が多い場合は、CSV を使った再発行のほうが簡単で確実です。

1. 再発行用の CSV ファイルを作成します。必要なフィールドは以下のフィールドです。

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
3	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。
4	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
5	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp,Yamada-Taro@NRASample.jp,01

■O、OU 指定をご利用の場合

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
3	Organization	-	Organization を入力します。
4	OrganizationUnit1	-	OrganizationUnit1 を入力します。
5	OrganizationUnit2	-	OrganizationUnit2 を入力します。
6	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。
7	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
8	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp,Yamada-Taro@NRASample.jp,o,ou1,ou2,01

期間指定又は期間+時間指定の証明書をご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】

期間指定の場合 2020/01/01

期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

No.3~5 のすべてに値を設定しない場合は、ひとつ前に発行された証明書と同じ値のサブジェクト組織名 (O)、組織単位名 (OU) で新しい証明書を発行します。

期間指定又は期間+時間指定の証明書をご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】

期間指定の場合 2020/01/01

期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

■インストール制限をご利用の場合

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。 尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
3	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。
4	証明書有効期限(From)	-	入力する必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
5	証明書有効期限(To)	-	入力する必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
6	インストール端末制限	-	インストール制限における制限項目一致条件を指定します。 [0] 制限なし [1] 制限項目のどれかと一致(OR 一致) [2] 制限項目のすべてと一致(AND 一致)
7	WindowsPC 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン"-","、コロン":"を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
8	WindowsPC 用制限項目 2 コンピュータ名	-	インストールを許可する端末のコンピュータ名を入力します。
9	WindowsPC 用制限項目 3 ログインユーザ名	-	インストールを許可するログインユーザ名を入力します。
10	WindowsPC 用制限項目 4 端末(BIOS)シリアル番号	-	インストールを許可する端末の(BIOS)シリアル番号を入力します。
11	macOS 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン"-","、コロン":"を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
12	macOS 用制限項目 2 シリアル番号	-	インストールを許可する端末のシリアル番号を入力します。
13	macOS 用制限項目 3 UUID	-	インストールを許可する端末の UUID を入力します。 ハイフン(-)を含めた 36 文字で指定してください。

期間指定又は期間+時間指定の証明書をご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】

期間指定の場合 2020/01/01

期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

現在発行されている証明書と同様の条件でインストールを制限する場合、No.6~13 は省略可能です。

No.6 を指定し No.7~13 の値を未指定にした場合、未指定の項目は制限項目に含まれません。

【CSV ファイルの例】

```
Yamada-Taro@NRASample.jp,Yamada-Taro@NRASample.jp,01,,,1,1234567890ab,hosttest,
山田太郎,bbbbbbbbbbbb,,,
```

■ O、OU 指定+インストール制限をご利用の場合

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。
2	配布先メールアドレス	○	利用者が使用するデバイス用のメールアドレスを入力します。 尚、代表メールアドレスと同じ場合は代表メールアドレスを入力してください。
3	Organization	-	Organization を入力します。
4	OrganizationUnit1	-	OrganizationUnit1 を入力します。
5	OrganizationUnit2	-	OrganizationUnit2 を入力します。
6	デバイスコード	○	利用者が使用するデバイスを NRA-PKI で使用するデバイスコードで指定します。
7	証明書有効期限(From)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
8	証明書有効期限(To)	-	入力の必要はありません。期間指定又は期間+時間指定の証明書を契約している場合にのみ有効です。
9	インストール端末制限	-	インストール制限における制限項目一致条件を指定します。 [0] 制限なし [1] 制限項目のどれかと一致(OR 一致) [2] 制限項目のすべてと一致(AND 一致)
10	WindowsPC 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン"-","、コロン":"を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
11	WindowsPC 用制限項目 2 コンピュータ名	-	インストールを許可する端末のコンピュータ名を入力します。
12	WindowsPC 用制限項目 3 ログインユーザ名	-	インストールを許可するログインユーザ名を入力します。
13	WindowsPC 用制限項目 4 端末(BIOS)シリアル番号	-	インストールを許可する端末の(BIOS)シリアル番号を入力します。
14	macOS 用制限項目 1 MAC アドレス	-	インストールを許可する端末の MAC アドレスを入力します。 ハイフン"-","、コロン":"を除いた 12 桁の 16 進数(0~F)で指定してください。
15	macOS 用制限項目 2 シリアル番号	-	インストールを許可する端末のシリアル番号を入力します。
16	macOS 用制限項目 3 UUID	-	インストールを許可する端末の UUID を入力します。 ハイフン(-)を含めた 36 文字で指定してください。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp,Yamada-Taro@NRASample.jp,,,01,,,1,1234567890ab,hosttest,山田太郎,bbbbbbbbbbbbbb,,

No.3~5 のすべてに値を設定しない場合は、ひとつ前に発行された証明書と同じ値のサブジェクト組織名 (O)、組織単位名 (OU) で新しい証明書を発行します。

期間指定又は期間+時間指定の証明書をご利用の場合は、[証明書有効期限 (From)] と [証明書有効期限 (To)] は必須項目となります。

期間指定は yyyy/mm/dd 形式、期間+時間指定は yyyy/mm/dd hh:mm 形式で指定してください。

【入力例】

期間指定の場合 2020/01/01

期間+時間指定の場合 2020/01/01 10:00

未指定の場合は、証明書発行日が開始日となります。

現在発行されている証明書と同様の条件でインストールを制限する場合、No.9~16 は省略可能です。

No.9 を指定し No.10~16 の値を未指定にした場合、未指定の項目は制限項目に含まれません。

2. メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者メンテナンス」をクリックします。
3. 「利用者メンテナンス」画面が表示されます。
4. 「以下のサービスを選択しています」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
5. 「組織名」の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。
6. 登録されている利用者の一覧表が表示されます。「▼一括操作」をクリックし、「CSV一括再発行」の「実行」ボタンをクリックします。



7. 「CSV一括再発行」ウィンドウが表示されます。

CSV一括再発行

CSV一括再発行

CSV一括再発行受付完了

NRA Sample 本社

再発行する利用者の情報が記載されたCSVファイルを選択してください。

CSVファイル : ファイルが選択されていません

失効日 : ☒ ただちに、失効する。
☐ 日付を指定して、失効する。
 ※指定日の午前0時前後に失効します。

☐ 発行した証明書は、管理者が一括ダウンロードする。

※管理者が一括でダウンロードする場合、発行した証明書にインストール制限はありません。

再発行用CSVファイルについて

対象の証明書を失効してから再発行します。
 失効した証明書は有効期限内であっても利用できなくなりますので、注意してください。

■ CSV処理状況

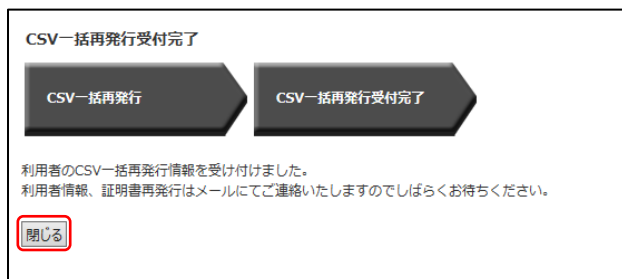
現在処理待ちおよび処理中のCSVファイルはありません

CSV 処理状況に現在の待ち状況が表示されます。待ち状況には全ての利用者の CSV 処理状況が反映されます。

「更新」ボタンを押下すると画面がリロードされ、最新の待ち状況が表示されます。

処理待ちおよび処理中の CSV ファイルがある場合は、処理に時間がかかる場合がございます。

8. [CSV ファイル] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして、CSV ファイルを指定します。
9. [ただちに、失効する]、[日付を指定して、失効する] のいずれかを選択し、[再発行] ボタンをクリックします。
10. [CSV 一括再発行受付完了] 画面が表示されます。[閉じる] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。



失効日を日付で指定したい場合は、[日付を指定して、失効する]を選択して、失効日を指定します。(30日以内で指定可能)
指定した失効日の午前0時ごろにシステムによって自動的に失効されます。

11. 処理が正常に完了しますと、管理者宛に「利用者一括再発行受付通知」が届きます。以上でクライアント証明書の一括再発行処理は終了になります。

7. 利用者を削除する

登録した利用者の情報に誤り（スペルミス等）があった場合や、サービスを利用していない利用者を削除してライセンス数を管理することができます。

利用者を完全に削除するには、管理画面から直接削除する方法と、CSV ファイルを指定してまとめて削除する方法があります。

管理画面から削除する場合は「1 次削除」「2 次削除」と 2 段階の操作が必要となります。

2 次削除まで完了しますと、利用者の証明書がすべて失効され、利用者情報が一覧から削除されます。

7-1 利用者を 1 次削除する

1. 「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」－「利用者 削除」をクリックします。



2. 「利用者削除検索画面」が表示されます。



サービス提供会社によって、電子証明書の新規発行を利用会社管理者に許可していない場合があります。その場合、「利用者削除」をクリックしても「利用者追加削除が許可されたサービスが存在しません。」とのメッセージが表示され、利用者の削除はできません。

3. 「利用サービス」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
4. 検索条件を指定して、「検索」ボタンをクリックします。
5. 検索条件に該当する利用者の一覧表が表示されます。削除したい利用者の「1次削除」ボタンをクリックします

6. 「利用者 1 次削除確認画面」が表示されます。削除したい利用者情報が表示されていることを確認して「決定」ボタンをクリックします。

7. 確認のメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。
8. 「利用者 1 次削除完了画面」が表示され、管理者宛に「利用者 1 次削除通知」が届きます。以上で利用者の 1 次削除は終了になります。つづけて 2 次削除を実施します。

7-2 利用者を 2 次削除する

1. 1 次削除と同様に「NRA-PKI システム管理画面」左メニューから「サービス情報メンテナンス」→「利用者 削除」をクリックします。
2. 「利用者削除検索画面」が表示されます。
3. 「利用サービス」で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
4. 検索条件を指定して、「検索」ボタンをクリックします。
5. 検索条件に該当する利用者の一覧表が表示されます。削除したい利用者の「2 次削除」ボタンをクリックします

6. 「利用者 2 次削除確認画面」が表示されます。削除対象の利用者情報が表示されていることを確認して「決定」ボタンをクリックします。

7. 確認のメッセージが表示されます。「[OK]」をクリックします。
8. 「利用者 2 次削除完了画面」が表示され、管理者宛に「利用者マスター削除通知」が届きます。以上で利用者の削除は終了になります。

サービス提供会社によって、電子証明書の新規発行を利用会社管理者に許可していない場合があります。その場合、「利用者削除」をクリックしても「利用者追加削除が許可されたサービスが存在しません。」とのメッセージが表示され、利用者の削除はできません。

トップ画面にも「利用者 2 次削除待ち一覧」が表示されます。

誤って削除対象ではない利用者を 1 次削除していた場合、「1 次削除を解除する」ボタンをクリックすると解除されます。

7-3 CSV ファイルを読み込んでまとめて利用者を削除する

CSV ファイルを指定して、まとめて利用者削除を行うことができます。複数の利用者を削除する場合は、CSV を使った利用者削除のほうが確実です。

1. 利用者削除用の CSV ファイルを作成します。必要なフィールドは以下の 1 フィールドです。

NO	項目名	必須	説明
1	代表メールアドレス	○	利用者のメールアドレスを入力します。

【CSV ファイルの例】

Yamada-Taro@NRASample.jp

2. メニューから [サービス情報メンテナンス] - [利用者メンテナンス] をクリックします。
3. [利用者メンテナンス] 画面が表示されます。
4. [以下のサービスを選択しています] で使用中のサービスが選択されていることを確認します。
5. [組織名] の列に表示されている組織名（特別な場合を除き「本社」と表示されています）のリンクをクリックします。
6. 登録されている利用者の一覧表が表示されます。[▼一括操作] をクリックし、[CSV 一括利用者マスター削除] の [実行] ボタンをクリックします。



7. [CSV一括利用者マスター削除] ウィンドウが表示されます。

CSV 処理状況に現在の待ち状況が表示されます。待ち状況には全ての利用者の CSV 処理状況が反映されます。

「更新」ボタンを押下すると画面がリロードされ、最新の待ち状況が表示されます。

処理待ちおよび処理中の CSV ファイルがある場合は、処理に時間がかかる場合がございます。

8. [CSV ファイル] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして、CSV ファイルを指定します。

9. [マスター削除] ボタンをクリックします。

10. [CSV 一括利用者マスター削除受付完了] 画面が表示されます。[閉じる] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

11. 処理が正常に完了しますと、管理者宛に「利用者マスター削除完了通知」が届きます。以上で利用者マスター一括削除は終了になります。